

一般社団法人東京高専技術懇談会ニュース

2010年11月15日号

一般社団法人東京高専技術懇談会発行

企業見学会を実施しました

平成22年11月8日(月)、神奈川県藤沢市にある(株)山武の研究開発拠点である藤沢テクノセンターを見学しました。同社は工業計器大手、空調制御は国内首位のメーカーです。



藤沢テクノセンター

藤沢テクノセンターは、省エネのモデル工場として位置づけられており、敷地面積29千㎡、従業員数2千名の大工場ですが、CO₂排出量を見ると09年度の実績で前年比10.1%削減、同社独自の指標である原単位で見ると90年度比67.5%の実績を誇っています。

当日は、大田会長、安藤・三谷両副会長をはじめ12名が参加し、環境安全グループの石倉克浩氏から具体的な省エネ手法について説明を受け、その後施設見学を行いました。

同社の省エネに関するコンセプトは以下の3つです。

- 1.測る・・・3現主義(現場、現物、現実)、データで語る
- 2.眺める・・・グラフ化→現場を想定して比較→改善案創出
- 3.制御する・・・ここに対策する、全体をマネジメントする

具体的な省エネ対策では、自社でもできそうなものもありました。例えば、

①照明の効率化とプルスイッチ採用による消灯の励行や、ブラインド交換により部屋の南面窓側の照明を終日OFFにするなどにより約40%の

電力削減

②日本古来の「よしず」を活用したエアコン室外機の効率向上によりCO₂換算で年間17トンの削減

上記のような小規模なものから、工場用エア、電力使用量、消費熱量、空調の省エネといった設備投資を伴うものまでさまざまな対策を見学できました。

同社の省エネ目標は、工場全体の電力量を3年連続して3%以上削減させるという大きなものですが、投資の回収にも4年以下(できれば3年以内)といったハードルを設けて採算性を意識しているところがすごいところでした。



雨水の再利用システムの説明

第2回大学コンソーシアム八王子学生発表会

平成22年12月4日(土)、5日(日)の2日間、標記の発表会がJR八王子駅前の東急スクエア11階及び12階で開催されます。口頭発表、ポスター発表、展示発表など計212件です。このうち東京高専からは参加校中最多の65件で、サレジオ高専の38件とあわせて約半数が高専生によるものです。高専生の活力を垣間見る思いです。口頭発表、ポスター発表は12月4日に集中しています。東京高専の発表は5年生の卒業研究と専攻科生に特別研究で、産学連携によるものも多数含まれています。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。入場無料です。プログラムは次のURLでご覧いただけます。

<http://www.conso-hachioji.or.jp/program22.pdf>

事務局より

猛暑の夏が終わったと思ったら、もう師走が近づいてきました。年明けには東京高専の研究資源見学会を予定しています。